

# <山梨県バスケットボール協会 U 1 5 バスケットボール連盟> プレリーグ戦の実施に向けて

参加チーム向け提案資料

平成30年10月1日

## **i** 日本バスケットボール協会が実施する育成改革について

(部活動ガイドラインを受けての J B A のスタンス)

4つの重点施策

①習熟度別指導内容の整理・育成コーチングの周知

②育成センターの設置

**③リーグ戦制度導入**

④大会整備

【課題点】

①日本の指導方針が見えない

**②育成が不十分である**

➤トーナメント文化で試合数が少ない

➤成長スピードが遅い

➤能力別に力を発揮する場が不足している

**③ 2018 年度から新しい環境が生まれることによる対応**

➤クラブ登録の開始

➤Bリーグ U15 ユースの義務化の開始(男子のみ)

④選手発掘の道筋が分かりにくい

**⑤ 育成世代の勝利至上主義が強すぎるきらいがある**

➤成長期に適した指導フィロソフィではない

### 【育成改革を行う理由】

「世界基準のバスケットボール」「バスケットボールを楽しむファミリーを増やす」ことを達成するためには、まずこれらの課題を解決することが必要です。そこで、これら育成の課題を解決するための考え方が「育成方針」として挙げられ、その方針の具現化のために次の4つの施策を解決策として提案することとしました。（JBA公式ホームページより抜粋）

<http://www.japanbasketball.jp/training/youthacademy/44295>

## 本県におけるリーグ戦の概要

### **i** 1期制（5～8月）でリーグ戦を行う

（1案）1年生大会・交流大会を廃止。

（2案）交流大会は廃止。1年生大会を交流大会方式で行い、2日間で終わらせる。

**（3案）1年生大会・交流大会を両方とも開催する。**

※加盟登録チーム数、登録選手の確保を念頭に置く必要がある。リーグ戦の実施に向けた現実的な問題点だけでなく、U15連盟そのものの体制を維持する上で必要であると考えた。

## 本県 リーグ戦（ジュニアウインターカップ予選）への参加規定

- i** （1）参加選手が、JBAに加盟登録をしていること
- （2）参加選手が、2つ以上のチームへ登録することは認めない
- （3）参加選手が、リーグ戦終了後に移籍することは認めない
- （4）ベンチで指揮を執る指導者は、JBAの公認ライセンスを取得していること
- （5）審判員は、JBA公認審判ライセンスを取得していること

## チーム数・試合数

チーム数	1周／1チーム	総試合数	運営日数	2周／1チーム	総試合数	運営日数
8チーム	7試合	28試合	3.5日	14試合	56試合	7日
7チーム	6試合	21試合	3日	12試合	42試合	6日
6チーム	5試合	15試合	2.5日	10試合	30試合	5日
5チーム	4試合	10試合	2日	8試合	20試合	4日

## 運営

**i** 該当チーム同士の自主運営でリーグ戦が成立する

当日の実運営以外は、U15部会が準備する（各種提案・中期計画・年間計画）

会場確保・審判調整・日程詳細については、参加チームが各リーグで調整を行う

- ・ <今年度は希望するチームを公募し、プレリーグ戦を12月～2月に開催する>

この提案に関してご質問がある場合は、ご都合の良いときに<片山敬太>電子メール

(<katayama@kai.ed.jp>) または、電話 (<055-279-0281>) でお気軽にご連絡ください。今後、本提案についてのフォローアップの検討ができるように対応致します。

ご検討いただきましてありがとうございます。

<強化・育成担当 U15 カテゴリー 片山敬太>

<甲斐市立玉幡中学校>

## 第48回関東中学校バスケットボール大会（群馬）にてヒヤリング結果

### 今年度の暫定的な実施方法について

#### **i** ○ 茨城県

各地区のベスト8で、リーグ戦を実施する。（1月頃の予定）

#### ○ 栃木県

BREX ジュニアと中体連の二重登録は認めないことを原則に、Bリーグユースと共にリーグを構築していく。

#### ○ 埼玉県

現在、JBAのモデルプランとなるリーグ戦実施要項を策定中である。クラブチームとの協議を交えながら、今後の運営方針について決定していく。一部の公立中学校では既にクラブ化を進めている。クラブが乱立しており、どのようにリーグを編成すべきかといった問題を抱えている。

#### ○ 千葉県

クラブチームを含め、公募する。参加を希望するチームで運営を行う。今年度、選手権大会にクラブチームが参加している。クラブチームの実情も様々で、競技レベルには格差がある。（男女共に4チーム程度）

#### ○ 東京都

男子か女子のどちらかで実施する。どの規模で実施するかは、現在協議中である。

#### ○ 神奈川県

クラブチームを含め、公募する。参加を希望するチームで運営を行う。6～8チーム。

#### ○ 群馬県

別紙参照

## 山梨県U14リーグ 実施要項（案）

### 1. 目的

山梨県バスケットボール協会U15バスケットボール連盟は、将来を担う中学生のバスケットボール技術向上と健全な心身の育成を図ることを目的として、本リーグを企画する。また、次年度以降の本実施に向けて、そのリハーサルを兼ねて運営するものである。

2. 主催 （一社）山梨県バスケットボール協会

3. 主管 U15バスケットボール連盟

4. 会期 平成30年12月15日～平成31年2月24日

5. 会場 県内各中学校等体育館

### 6. 選手参加条件

- ① 日本バスケットボール協会に競技者登録をしていること。
- ② 中学2年生以下であること。

### 7. チーム参加条件

- ① 日本バスケットボール協会に加盟登録しているチームであること。

※プレリーグに関しては、加盟準備中の団体の参加を承認する場合もある。

- ② 日本バスケットボール協会のコーチライセンスを取得した指導者が指揮を執ることが望ましい。

次年度以降は、原則的に取得した指導者が指揮を執ることとする。

※プレリーグに関しては、次年度の本実施に向けてライセンス取得中の指導者も条件を満たしていると承認する場合がある。

※これまでに他のカテゴリー、他の競技団体で指導者資格の剥奪、ペナルティを課せられた者については、日本バスケットボール協会のライセンスを有していても本連盟ではベンチでの指導資格を認めない。

③ 日本バスケットボール協会の審判資格を取得した公認審判員が帯同すること。

## 8. 競技規則

① 現行の日本バスケットボール協会競技規則による。※ユニフォームの規定については適用しない。

② マンツーマンディフェンス基準規則に則る。※コミッショナーの設置、罰則の適用は行わない。

## 9. 競技方法

① 応募したチームを県新人大会までの結果をもとに、強化・育成グループでリーグ編成を行う。

② 参加チームによるリーグ戦で、各リーグ内の勝敗で順位を決定する。

※今年度の順位は、来年度のリーグ編成やジュニアウインターカップ予選に反映させない。

## 10. 細則

① エントリーは、コーチ1名、アシスタントコーチ1名、マネージャー1名、および選手18名までとする。

・大会期間中のチーム変更は、原則として認めない。

11. 審判員については、帯同審判制を原則とする。各チーム、1名の審判員を帯同させること。

## 1 2. 参加申込方法

- ① 山梨県バスケットボール協会 U 1 5 バスケットボール連盟ホームページより、所定の書式をダウンロードし、10月12日（金）までに下記メールアドレスまで送付すること。他の申込方法は、認めない。

・山梨県バスケットボール協会 U 1 5 バスケットボール連盟ホームページ

<http://jhs.yamanashibasketball.jp/>

- ② あて先（問い合わせ先）

山梨県バスケットボール協会 U 1 5 バスケットボール連盟

強化・育成グループ 甲斐市立玉幡中学校 片山 敬太

TEL 055-279-0281

・申込メールアドレス katayama△kai.ed.jp （△を@に変えて送付してください。）

## 1 3. 打合せ会議

日時：平成30年10月24日（水）19時00分より

会場：甲斐市立玉幡中学校会議室（予定）

※打合せ会議には、原則申し込み責任者が必ず出席すること。万が一、出席できない場合は代理人を立てなければならない。

## 1 4. 参加料3,000円